

生涯学習大沼令和6年度第4回の教養講座を開催しました

11月15日(金)、「茨城県県政出前講座」を開催し、20名の参加者と聴講しました。

当日は「茨城のダム」と題しダムの各種目的や種類等を紹介するため、茨城県土木部河川課水防災・砂防対策室 室長補佐の宮永 慎也様、係長の小室 昭様と倉持 祐介様の3名で来ていただきました。

講演は貯水や水防災目的のダムと土砂災害や土石流対応の砂防ダムの紹介の2部構成で行われました。

貯水や水防災目的のダムでは、ダムの立地条件に対応した形状や構造、更に雨量に対する貯水量の管理等の紹介が有りました。最後に県内の主なダムの紹介された全景写真を見て改めてダムの偉大な佇まいを知ることが出来ました。

砂防ダムでは、土砂崩れや土石流による災害の記録ビデオの紹介が有りました。

災害に対しては日頃の備えとして、地域のハザードマップが有効であること、更に身近にある小川(2級河川)でも大きな災害に通じる可能性が有るとのことでした。

砂防ダムは山間部に有り見る機会が無いいため、常陸大宮や常陸太田の山中に有る砂防ダムや建設中の写真を紹介頂きました。

参加者もダムの重要性や災害に対し改めて考える機会になったと思います。

質疑応答でダムの寿命の問いに対し、補修しながら100年とのことでした。

生涯学習部 尾崎重美

